



図4-1 調査地点位置図

縮尺1:2,000

平成8年度

表5-1(1) 含有量分析結果

項目 試料No.	試料採取 標高(m)	堆積面から の深度(m)	ig. loss (%)	SiO ₂ (%)	Al ₂ O ₃ (%)	Fe ₂ O ₃ (%)	CaO (%)	MgO (%)	SO ₃ (%)	Na ₂ O (%)	K ₂ O (%)	CO ₂ (%)
No. 1-1	902.80	-1.35	21.7	28.0	18.9	2.70	15.0	0.55	2.90	0.65	0.14	9.5
No. 1-2	901.80	-2.35	20.1	29.7	17.9	3.30	20.3	0.60	2.04	1.16	0.12	15.2
No. 1-3	899.80	-4.35	18.2	32.1	21.6	4.74	14.5	1.24	2.11	0.77	0.47	10.0
No. 2-1	902.00	-1.35	20.8	27.2	26.0	6.66	4.45	0.53	1.92	0.64	0.52	2.3
No. 2-2	901.00	-2.35	23.7	26.6	26.1	7.32	4.95	0.51	2.99	1.23	0.46	2.3
No. 2-3	899.00	-4.35	17.7	35.8	23.7	6.00	7.94	0.70	3.92	0.69	0.69	4.56
No. 3-1	904.10	-1.35	22.1	28.7	26.7	7.37	5.85	0.49	2.81	1.04	0.32	2.9
No. 3-2	901.10	-4.35	26.7	28.1	24.0	7.19	6.43	0.48	3.11	0.89	0.29	3.3
No. 3-3	898.10	-7.35	13.9	34.9	17.7	4.86	16.6	0.63	1.85	0.69	0.38	12.1
平均 値	湯川筋		20.0	29.9	19.5	3.58	16.6	0.80	2.35	0.86	0.24	11.6
	大沢川筋		20.8	30.2	24.0	6.57	7.70	0.56	2.77	0.86	0.44	4.6
	全試料		20.5	30.1	22.5	5.57	10.7	0.64	2.63	0.86	0.38	6.9
最大値			26.7	35.8	26.7	7.37	20.3	1.24	3.92	1.23	0.69	15.2
最小値			13.9	26.6	17.7	2.70	4.45	0.48	1.85	0.64	0.12	2.3

備考1) 試料採取標高及び堆積面からの深度は、試料採取幅の中央値を示す。

2) 単位は水分のみ湿重量基準、他は乾重量基準である。

3) ig. loss: 強熱減量、SiO₂: 二酸化珪素、Al₂O₃: 酸化アルミニウム、Fe₂O₃: 酸化第2鉄、CaO: 酸化カルシウム、MgO: 酸化マグネシウム

SO₃: 三酸化硫黄、Na₂O: 酸化ナトリウム、K₂O: 酸化カリウム、CO₂: 炭酸塩を二酸化炭素表示したもの。

4) 各平均値と試料No. との対応は次のとおりである。湯川筋: No. 1-1~No. 1-3 大沢川筋: No. 2-1~No. 3-3 全試料: No. 1-1~No. 3-3

表5-1(2) 含有量分析結果

項目 試料No.	試料採取 標高(m)	堆積面から の深度(m)	S ²⁻ (mg/kg)	As (mg/kg)	Cd (mg/kg)	Pb (mg/kg)	水分量 (%)
No. 1-1	902.80	-1.35	210	3380	1.35	94.3	58.1
No. 1-2	901.80	-2.35	240	3670	1.56	110	64.1
No. 1-3	899.80	-4.35	1340	2200	1.14	80.4	61.7
No. 2-1	902.00	-1.35	40	1160	1.05	54.5	67.7
No. 2-2	901.00	-2.35	10	1800	1.26	68.7	73.7
No. 2-3	899.00	-4.35	150	420	0.72	34.6	65.7
No. 3-1	904.10	-1.35	40	2880	1.32	90.6	76.1
No. 3-2	901.10	-4.35	210	2510	1.21	87.8	75.3
No. 3-3	898.10	-7.35	90	483	1.11	47.8	63.0
平均 値	湯川筋		597	3083	1.35	94.9	61.3
	大沢川筋		90	1542	1.11	64.0	70.3
	全試料		259	2056	1.19	74.3	67.3
最大値			1340	3670	1.56	110	76.1
最小値			10	420	0.72	34.6	58.1
含有量参考値			—	50	9	600	—
土壌の含有量			—	6	0.06	10	—

備考1) 試料採取標高及び堆積面からの深度は、試料採取幅の中央値を示す。

2) 単位は水分のみ湿重量基準、他は乾重量基準である。

3) 含有量参考値は「重金属に係る土壌汚染調査・対策指針及び有機塩素系化合物土壌・地下水に係る汚染調査・対策暫定指針」(平成8年11月 環境庁水質保全局)の対策範囲設定基準の含有量参考値。

4) S²⁻: 硫化物態硫黄、As: 砒素、Cd: カドミウム、Pb: 鉛

5) 各平均値と試料No. との対応は次のとおりである。湯川筋: No. 1-1~No. 1-3

大沢川筋: No. 2-1~No. 3-3 全試料: No. 1-1~No. 3-3

6) 土壌の含有量は「日本環境図譜」(半谷高久 監修、大竹千代子 編 共立出版)より転記。

表5-2 水溶性成分分析結果

項目 試料No.	試料採取 標高(m)	堆積面から の深度(m)	Cl ⁻ (%)	SO ₄ ²⁻ (%)
No. 1-1	902.80	-1.35	0.034	0.48
No. 1-2	901.80	-2.35	0.039	0.42
No. 1-3	899.80	-4.35	0.042	0.17
No. 2-1	902.00	-1.35	0.033	0.37
No. 2-2	901.00	-2.35	0.045	0.45
No. 2-3	899.00	-4.35	0.031	0.40
No. 3-1	904.10	-1.35	0.052	0.45
No. 3-2	901.10	-4.35	0.049	0.52
No. 3-3	898.10	-7.35	0.034	0.32
平均 値	湯川筋		0.038	0.36
	大沢川筋		0.041	0.42
	全試料		0.040	0.40
最大値			0.052	0.52
最小値			0.031	0.17

備考1) 試料採取標高及び堆積面からの深度は、試料採取幅の中央値を示す。

2) Cl⁻: 塩化物イオン、SO₄²⁻: 硫酸イオン

3) 各平均値と試料No. との対応は次のとおりである。

湯川筋 : No. 1-1~No. 1-3

大沢川筋 : No. 2-1~No. 3-3

全試料 : No. 1-1~No. 3-3